

1 再編整備終了後の県立高校の状況

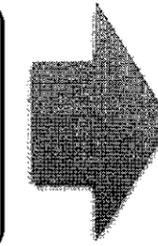
●定員割れの状況

R2：県立高校50校中38校で2,475人（H19：1,034人）

・熊本市以外の地域で定員割れが進行（熊本市内の公立高校の充足率：97.6% その他地域：69.0%）

●少子化の下げ止まり

・中学校卒業生数は、R2.3月卒は16,156人。R9まで16,000人超が続く。その後、漸減の見込み。



R3～R6年度の4年間は、新たな再編統合は行わず、高校の魅力化に注力する

2 県立高校あり方検討会の提言（R3～R6）の4つのポイント

ポイント	内容
1 県立高校の再編統合は行わないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・県立高校の適正規模（1学年4～8学級）の考え方は、一旦留保。 ・小規模校の課題（教職員の確保、コミュニケーション不足等）は、ICT活用による遠隔授業等により改善が見込まれる。
2 県立高校の魅力化に徹底的に取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・定員割れ拡大の結果、誰でも入学できることによるモチベーション、学力の低下、さらには高校自体の魅力の低下につながっているとの指摘。 ・定員割れが大きい熊本市以外の県立高校を中心に、提言に掲げられた魅力ある高校づくりに向けた14の取組みを推進。
3 各県立高校において地域と連携、協議を進めていくこと	<ul style="list-style-type: none"> ・各県立高校の学校運営協議会等を活用し、市町村等の地域を巻き込んだスクールミッション（各学校のあり方）や魅力化の推進を協議。その際、必要な学科の改編、定員割れの継続状況等を踏まえた募集定員の見直しを実施。
4 引き続き検討していくこと	<ul style="list-style-type: none"> ①大規模校（10学級）の学級減 大規模校の課題とされた、人間関係の希薄化、学校行事への支障等は見られていない。さらに前回計画時に減少すると見込んだ中学校卒業生数は増加。 ②通学区域の拡大（3学区→全県1区化） 更なる拡大は熊本市以外の高校の定員割れが進行する懸念 ③入学者選抜の学区外枠の拡大（13%→20%） 現在学区外合格者の割合の平均は8%前後（熊本市内7校普通科）

3 魅力ある学校づくりに向けた取組の7つの方向性と14の取組み

I 各学校の特色や強みを生かした取組を重点的に推進

（①熊本スーパーハイスクール構想、②先進的な科学技術やIT技術を学ぶ学科等の設置検討、④総合学科や社会や地域・生徒のニーズに応える学科等〔マンガ・アニメが学べる学科等、防災系の学科等〕の設置検討）

II 高校間連携や多様なパートナーとの連携による取組を推進（⑤高大連携の推進、⑥県立高校 One Team プロジェクト〔高校間連携〕）

III 地域の期待に応える魅力ある学校づくりの推進（⑦地域との連携による未来人材共育プロジェクト〔コンソーシアムの構築支援〕）

IV ICTの活用による学びの保障、教育の充実（⑨ICT教育日本一の具現化）

V 小規模な学校の活性化（⑧遠隔授業等による教育の充実、⑩進学サポートシステムの構築）

VI グローバルに活躍する人材の育成（英語教育日本一）（③国際バカロレア認定校・学科等の設置検討）

VII 取組を推進するための環境整備（⑪少人数学級編制の検討、⑫ICT環境整備、⑬施設長寿命化、⑭入試制度のあり方検討）

4 今後の進め方

今後、あり方検討会で示された提言を踏まえ、県教育委員会及び各県立高校において、スクールミッション（目指すべき高校像、存在意義等）を構築していくとともに、魅力化に向けた検討を行い、学科改編、募集定員の見直し等の必要な取組を進めていく。

なお、検討に際しては、保護者、地域、行政等からなる各学校の運営協議会等における協議を踏まえたものとする。

IV-1-(2)-① 県立高校魅力化きらめきプラン

新

予算額 36 百万円 (21 百万円)

県立高校魅力化きらめきプラン[高校教育課]

- 本県の県立高校では、熊本市外の高校を中心に定員割れが続いており、生徒数の減少による教育環境の悪化等が懸念
- 熊本市外の高校において新しい時代に対応した、生徒・保護者に選ばれる魅力ある学校づくりを推進し、入学希望者の増加を図る

<現状・課題>

- 令和2年度は県立高校50校中38校で計2,398人の定員割れ(充足率78.7%)となっており、充足率の改善が課題
- 特に、熊本市外の高校において、定員割れが深刻な状況(熊本市内97.6%⇔市外69.0%)であり、入学者の確保が急務

熊本市外の高校の魅力化・特色化等の取組みを強力に推進

<目的・概要>

- 事業概要：熊本市外の県立高校において①学校の特色化・魅力化、②教育内容の充実、③地域と連携した学校づくりを柱とした取組みを実施し、地元の中学校等からの入学者の増加を図る
- 事業費：36 百万円
- 負担割合：国1/2 [地方創生推進交付金(一部)]、県1/2
- 事業主体：県
- 事業期間：令和3～5年度

本事業の実施に当たっては、特に5年以上定員割れが継続し、地元中学校からの入学者が減少している高校の取組みを重点的に推進

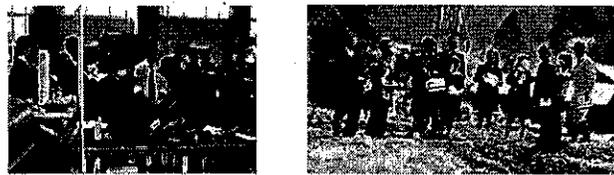
学校の特色化・魅力化

- 事業内容：各学校が特色を明確化した上で、地域内外に広く魅力を発信
 <主な取組み>
 ・各学校の特色をまとめたパンフレットの作成
 ・学校紹介動画・ポスター・漫画コンテストの開催
 ・国際バカロレア認定校の設置検討 等
- 事業費：21 百万円



教育内容の充実

- 事業内容：学科やコース数、開設科目数が異なる複数の高校が互いに連携し、それぞれの強みや特色を生かした教育活動を実施
 <主な取組み>
 ・専門高校の施設を活用した普通科生徒との合同実習体験 等
- 事業費：11 百万円



地域と連携した学校づくり

- 事業内容：地元で愛され、地元で選ばれる魅力ある学校づくりに向けた地域内連携体制の構築
 <主な取組み>
 ・地元自治体や企業等が参加し、学校の魅力化等について協議するコンソーシアムの構築
 ・地域資源を活用した教育活動(講演会や現地実習等)の実施 等
- 事業費：4 百万円



熊本市外の高校への入学希望者の増加